

平成 26 年度事業報告書 (概要) 1 / 3P

|   | 事業名   | 時期                     | 概要  |
|---|---|------------------------|---|
| 1 | 理美容品等の市場調査<br>(調査委員会)                       | 平成26年4月～平成27年3月        | NBBA会員会社のカテゴリー別商品出荷ベースによるマーケットシェアの分析を実施。  |
| 2 | 理美容/美容室男性ユーザー<br>利用意識NET調査(春季調査)<br>(調査委員会) | 平成26年5月8日～5月14日<br>実施  | 男性ユーザーの理容室/美容室の現利用店舗評価、店舗選択行動、ヘアスタイル意識の調査 実施。<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・調査方法:インターネット調査</li> <li>・調査エリア:全国</li> <li>・対象者:15歳～69歳までの男性</li> <li>・集計サンプル数 1,800(各世代300)</li> <li>※合計については、サンプル数のみの集計を行う方式から、人口構成比でウェイトバックをかけ集計する方式に変更</li> <li>ライフメディア(旧iMiネット)アンケートモニター会員</li> <li>※10代については、クロスマーケティングからも取得した</li> <li>・調査期間:2014年5月8日(木)～5月14日(水)</li> <li>・調査実施機関:㈱東京サーベイ・リサーチ</li> <li>※本年度は基本質問項目のみの調査</li> </ul>   |
| 3 | サロン女性ユーザー<br>利用意識NET調査(秋季調査)<br>(調査委員会)     | 平成26年10月3日～10月9日<br>実施 | サロンユーザー(女性)の現利用のサロン評価、サロン選択行動、ヘアスタイル意識の調査 実施。<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・調査方法:インターネット調査</li> <li>・調査エリア:全国</li> <li>・対象者:15歳～69歳までの女性</li> <li>・集計サンプル数 5,500 10代を500サンプル 60代を1000サンプルに変更</li> <li>※合計については60代も加え、サンプル数のみの集計を行う方式から、人口構成比でウェイトバックをかけ集計する方式に変更。過去データに関しても、その当時の人口構成比でウェイトバックをかけ集計</li> <li>ライフメディア アンケートモニター会員</li> <li>※10代については、クロスマーケティングからも取得した</li> <li>・調査期間:2014年10月3日(金)～10月9日(木)</li> <li>・調査実施機関:㈱東京サーベイ・リサーチ</li> </ul> <p>※平成27年3月20日冊子「2014年サロンユーザー調査」を業界関係先へ配布</p> |
| 4 | 第13回<br>NBBAカレッジ(継続事業)<br>(アカデミー委員会)        | 平成26年5月26日～5月27日       | 目 的: 会員会社の社員に対して、理美容業界の活性化及び社員の資質の向上を図るため、レベルの高い研修を開催。<br><br>テーマ: ビューティ&ヘルス<br><br>会 場: パシフィコ横浜 アジアビューティエキスポ内NBBAブース<br><br>講 師: 七海麻子氏(フォトセミナー)/進藤学氏(エクササイズ)/酒井美穂氏(薬膳セミナー)   |
| 5 | 臨時セミナー開催<br>(アカデミー委員会)                      | 平成26年4月～平成27年3月        | 目 的: 臨時に発生する、美容環境や労働環境の課題に関するセミナーを開催。<br><br>①平成26年8月27日 フジゼロックス みなとみらい 価値創造センターにおいて、コピー印刷によるONE TO ONEマーケティングの実際を学ぶツアー実施 参加11名<br>②平成26年9月11日 個人情報保護法に関するセミナー開催<br>タカラ椅子会館5階会議室 40名近い参加者<br><br>講師:TISファーストマネージ株式会社ソリューションサービス事業部<br>営業・事業推進部 大久保 憲一氏<br>株式会社 個人情報審査センター<br>代表取締役 矢野 聡史氏   |
| 6 | 第13回<br>海外視察ツアー<br>(アカデミー委員会)               | 平成26年10月24日～10月27日     | 目 的: 美容環境における課題や解決のヒントを海外に学び、社員の資質の向上を図る。<br><br>趣 旨: アジア圏内に進出が著しい韓国の理美容事情の視察(教育制度、資格制度、流通の仕組み、アジア進出動向など)レポートする。<br><br>視察先: 韓国ソウル・サロン/代理店/ビューティスクール/メーカー<br><br>参加者: 10名   |

平成 26年度事業報告書 (概要) 2 / 3P

|    | 事業名  | 時期                      | 概要  |
|----|--|-------------------------|---|
| 7  | アルミチューブ回収組の研究<br>(環境委員会)   | 平成26年4月～<br>平成27年3月     | アルミチューブ回収への意識を大型サロン・代理店単位で調査し、実施希望に対して検討・支援を実施。<br>・関東地区でチェーン展開している大型サロン様が本格的にアルミチューブの回収を行うことになり、支援活動実施。<br>4月 21日 埼玉アルミセンター株式会社様訪問した。事前にサンプルを送っており、双方で問題ないことを確認。<br>5月 9日 大型サロン様にアルミチューブ回収活動をアピールするPOPの原案を送付した。<br>※回収ボックス、搬入用オリコンの要望があり、制作検討に入る。<br>10月10日 大型サロン様より9月までの回収実績290kgと10月10日付の上毛新聞に掲載されたとの報告があった。<br>3月 22日 制作検討を行ったアルミチューブ回収ボックスを作成、25個寄贈。<br>・秋田県美容生活衛生同業組合環境委員会よりアルミチューブ回収を再開するとの連絡が6月5日あり支援検討。<br>7月 28日 秋田県理美容用品商業協同組合に回収用ポリ袋200枚を寄贈。<br>7月 9日 アルミチューブのメーカー武内プレス様見学。   |
| 8  | 環境流通を考慮した梱包形態の研究<br>(環境委員会)  | 平成26年4月～<br>平成27年3月     | 流通委員会と連携で梱包形態の共通化などの研究。<br>・ストレッチフィルムの代替の研究・梱包箱の共通化に関して研究<br>10月21日 エコビス株式会社<br>ストレッチフィルムに代わるバンドとオリコンの紹介とその活用事例の説明を受けた。<br>株式会社 光和インターナショナル<br>コーワライティングシート(壁などに静電気で張付けられ、ホワイトボードのように書き消し可能なシート)<br>コーワシールシート(糊を使わずに床や壁に貼れる印刷可能な強粘着シート)<br>GAINA(断熱、遮熱、保温、防音効果のある環境改善型塗料) 以上3点の紹介があった。<br>11月 8日 みずほ情報総研によるISO14001の2015改正版の勉強会を実施した。   |
| 9  | アジアビューティーEXPにて<br>これまでに取り組んできた<br>活動を紹介し、環境負荷低減の<br>啓蒙活動を行う<br>(環境委員会) | 平成26年4月～平成27年3月         | ・アジアビューティーEXPで「サロン・デ・エコ」を配布し、美容業界の取り組むべき環境負荷低減活動をアピールする。<br>5月26日、27日「サロン・デ・エコ」約500部配布。<br>・平成24年度実施した秋田でのアルミチューブ回収テストケースを紹介。(パネルを展示)   |
| 10 | 気仙沼訪問視察<br>(環境委員会)   | 平成27年3月5日～<br>平成27年3月6日 | ・復興工事は着々と進行していたが、仮設住まいの方への経済的支援、心の支援はほとんど進んでいない。  |
| 11 | NBBA活動の認知向上<br>(広報委員会)   | 平成26年4月～<br>平成27年3月     | ◆目的 「NBBAの活動自体の認知向上：継続事項」<br>サロン市場への貢献に繋がるよう、広報と各委員会の連携の体制強化と、メディアや団体とのパートナーシップ強化、WEBコンテンツの充実。<br>アジアビューティーエキスポに向けNBBA活動の認知向上を目指す。<br>◆活動内容<br>①広報と各委員会の連携の強化<br>・各委員会に広報担当委員制の継続。<br>②HPの内容充実とメンテナンス強化(継続)<br>・「サロンユーザー調査」全ページの更新。<br>・「平成26年度事業計画・平成25年度事業報告」の更新。<br>・「サロンユーザー調査」のハイライト版の更新。<br>③メディア、業界団体との良好な関係作りと積極的なコミュニケーション<br>・「業界内外メディア41社」に加え、「業界35団体」に「サロンユーザー調査」を挨拶状と共に送付。<br>・6月4日の「総会記者会見」及び「懇親会」を主催しました。<br>・「美容の新しい価値」シンポジウムで「サロンユーザー調査」"ハイライト版"をCDで美容師を中心に350名の参加者に配布。<br>・HPアクセスは継続的に対前を上回り順調に推移。リピーターの閲覧時間も初めて5分を超え、認知、期待が確実に向上していると推察。 |
| 12 | NBBAの新しい活動の創造<br>(広報委員会)   | 平成26年4月～<br>平成27年3月     | ◆目的 「NBBAの新しい活動の創造」<br>アジアビューティーエキスポでの「NBBAブース設営と活動の認知向上」に向け活動資源を集中する。<br>◆活動内容<br>①アジアビューティーエキスポにおけるNBBA共有ブースの企画、デザイン運営を行った。<br>・「業界内外メディア41社」「業界35団体」に「アジアビューティーエキスポでのNBBAブース展開」をニュースリリースし、HP上でも告知した。<br>・アジアビューティーエキスポに向け広報委員会、アカデミー委員会でプロジェクト化。<br>NBBA一体ブースを設営しNBBAの存在感、全体統一感の向上に貢献した。<br>②他委員会との連動強化<br>・アカデミー委員会の海外ツアーレポート公開。<br>・環境委員会の「被災地復興支援視察」を公開。  |

平成 26 年度事業報告書 (概要) 3 / 3P

|    | 事業名                             | 時期                  | 概要   |
|----|---------------------------------|---------------------|--|
| 13 | ホスティング<br>(広報委員会)               | 平成26年4月～<br>平成27年3月 | ◆目的 「サーバーの安定運用」<br>①ホスティング(通年)<br>問題なく運用した。  |
| 14 | 業界流通システムの<br>標準化推進活動<br>(流通委員会) | 平成26年4月～<br>平成27年3月 | ◆目的 業界に対する最新の流通システム情報の提供を行い、EDIの推進をはかり業界全体の効率化を目指す。<br>①流通オープンセミナー開催 5月26日・27日アジアビューティエキスポ会場にて実施。<br>内容:「NBBA楽々注文ねっと、NBBAサロン楽々注文ねっと」の最新情報ご紹介<br>②流通セミナーを 11月12日 日立ソリューション品川セミナールームにて実施。<br>参加者:代理店23名、ジャーナル10名、その他49名 総計82名<br>セミナー内容<br>1)株式会社MS&Consulting 宗像氏<br>「顧客満足度調査から見えてきたお客様に選ばれるサロンの条件」<br>2)株式会社ガモウ 中村氏<br>「インターネットを利用した受注システムの導入による受注・出荷業務の効率向上」<br>3)株式会社日立ソリューションズ・ビジネスより<br>「NBBA楽々注文ねっと、NBBAサロン楽々注文ねっと」の最新情報提供<br>③「NBBA楽々注文ねっと」「NBBAサロン楽々注文ねっと」推進業務。<br>NBBA楽々注文ねっと、月平均約430社より発注。登録530<br>NBBAサロン楽々注文ねっと契約実績 14社 |
| 15 | 業界標準流通システム構築事業<br>(流通委員会)       | 平成26年4月～<br>平成27年3月 | ◆目的 業界内の標準化をはかり、業界トータルの情報システム化とコストダウンを推進し、<br>業界全体の効率UPを図る。<br>①「NBBA楽々注文ねっと」「NBBAサロン楽々注文ねっと」サービス内容拡充。<br>「NBBA楽々注文ねっと」のサービス内容拡充。<br>実施例 登録内容の確認画面追加<br>②セールアウト標準化システム構築研究と推進活動の実施。<br>TBCスカットとの共同活動実施。<br>③NBBAサロン楽々注文ねっと 導入支援コラボレーション企画。<br>6月からのフィールドテスト実施も向け、準備中。  |
| 16 | 流通システム研究<br>(流通委員会)             | 平成26年4月～<br>平成27年3月 | ◆目的 理美容業界内の物流システム全般を考察し、業界全体の効率化に寄与する<br>仕組みの研究を行い業界の方向性に何らかの判断情報を提供できるようにする。<br>①物流システム研究<br>委員会にて勉強会の実施。   |
| 17 | 復興支援<br>気仙沼訪問視察<br>(環境委員会)      | 平成27年3月6日～7日        | 食糧支援で繋がりのできた、気仙沼へ1年半ぶり2回目の現地視察を実行。<br>(環境委員会活動報告のとおり)  |
| 18 | 復興支援<br>食糧支援に対する補助<br>(事務局)     | 平成26年11月～平成27年3月    | 自発的に食糧を送られた方に対して、送料実費補助を行った。   |